

# デュアルユース問題と BSL4 施設シンポジウム

日時：平成24年12月14日（金）午後 1：30～5：00

場所：日本学術会議 講堂

（東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」下車1分）



主催：日本学術会議基礎生物学委員会病原体学分科会、基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会合同総合微生物科学分科会、基礎医学委員会病原体研究に関するデュアルユース問題分科会、日本学術会議科学・技術のデュアルユース問題に関する検討委員会、日本微生物学連盟

デュアルユース dual use とは：  
民生と軍事の両方に利用できる  
もの。「二面的利用性」と訳す。

13:30～13:40 開会挨拶「シンポジウム開催に当たって」

柳 雄介 （日本学術会議特任連携会員、九州大学医学研究院）

13:40～14:10 DU 問題に関する日本学術会議での議論の経緯と統括

岡本 尚 （日本学術会議連携会員、名古屋市立大学医学研究科）

14:10～14:40 デュアルユース (DU) 問題のこれまでの流れ

四ノ宮成祥（日本学術会議特任連携会員、防衛医科大学校）

14:40～15:10 海外の BSL4 施設での実験の状況

高田礼人 （北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター）

15:10～15:40 世界および国内の BSL4 施設の現況

倉田 毅 （国際医療福祉大学）

15:40～16:10 合成生物学とデュアルユース問題

木賀大介 （東京工業大学総合理工学研究科）

16:10～16:40 Brain Machine Interface (BMI) と DU 問題

川人光男 （日本学術会議連携会員、  
国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所）

16:40～17:00 まとめと総合討論

笹川千尋 （日本学術会議第二部会員、日本生物科学研究所）

● お問い合わせ先：日本微生物学連盟事務局（微生物科学機構内）  
佐々木 博樹（TEL：03-6231-4030）  
名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学  
岡本 尚（tokamoto@med.nagoya-cu.ac.jp）